

ニスは、ア・マ・テ・ラ・ス・オ・ホ・ミ・カ・ミイのミイです。



休字(ミイ字)神呪

ミイ字の観法は「神ニミに生きたまふなり、...」
と書いてはがろ生きたまふこと

神様と人間の一体感です。神様と人間との同行ニスです。神とともに

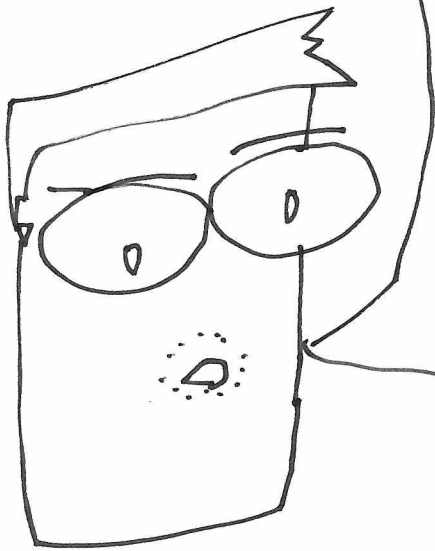
生きるというべをもつことびす。日々の生活において同行ニス之母貝くことびす。

靈行としての最高の^{まも}杜致に^{まも}切ります。そこには人間^の御臺は神聖になリ

肉体は消え失せ、宇宙と一体となりています。これが「^{ひさびさ}飛躍(ビグバシ)」と

思われます。すぢわちミイ字神呪の「^{あまの}見はるかす朝日あまのねき珀石御空

星影のはや見えずなりけり」の「^{あまの}星影」は「^{あまの}見えずなりけり」です。



肉体の小さな穴から外の世界を眺めていたけど

人間の内なる魂が火り輝き出すと、その肉体は

もはや消え失せてしまう。

肉体は宇宙と渾然一体となり。

神様

と共にある真の人間が存在する。

常住坐臥に大神様の御名を称える生活によって

それが持統される。

ミイ字の観法は神宇宙との一体観である。

